

## 1 背景

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和2年度末をもって第1期の総合戦略が終了し、これまでの取組内容の検証結果を踏まえ、令和3年度から令和7年度までの5年間に講ずる具体的な施策を定めるものとして策定。

令和3年度に、令和7年度までを計画期間とする第2次豊後大野市総合計画・後期基本計画が策定されたことを受け、上位計画に位置付けされる総合計画との整合性を確保するため、K P I や具体的な取組等について一部改訂を実施。

## 2 総合計画と総合戦略を一体化することによるメリット

### (1) 一体化について

地方版総合戦略策定の策定・効果検証のための手引き（内閣府（令和4年12月）の6-1総合計画等と地方版総合戦略との関係）にて、国より一体化することは可能であると示されている。

### (2) 総合計画との整合性

総合計画に総合戦略を包含させ、計画内容を一体化することにより、**双方の関係性が明確となり、総合計画と整合性の取れた総合戦略とすることが可能。**

### (3) 一体化のメリット

進行管理（PDCAサイクルによる事業評価）が明確に行えるようになり、策定、検証の効率化等が可能となる。また、一体化することにより「説明責任・進行管理・経費削減」といった市政運営にとって重要な事項にメリットが生まれ、結果として、一貫的な取組が可能となり市民への説明も行いやすくなることが考えられる。

## 3 次期総合計画と総合戦略スケジュール



# 豊後大野市総合計画と総合戦略の一体化について

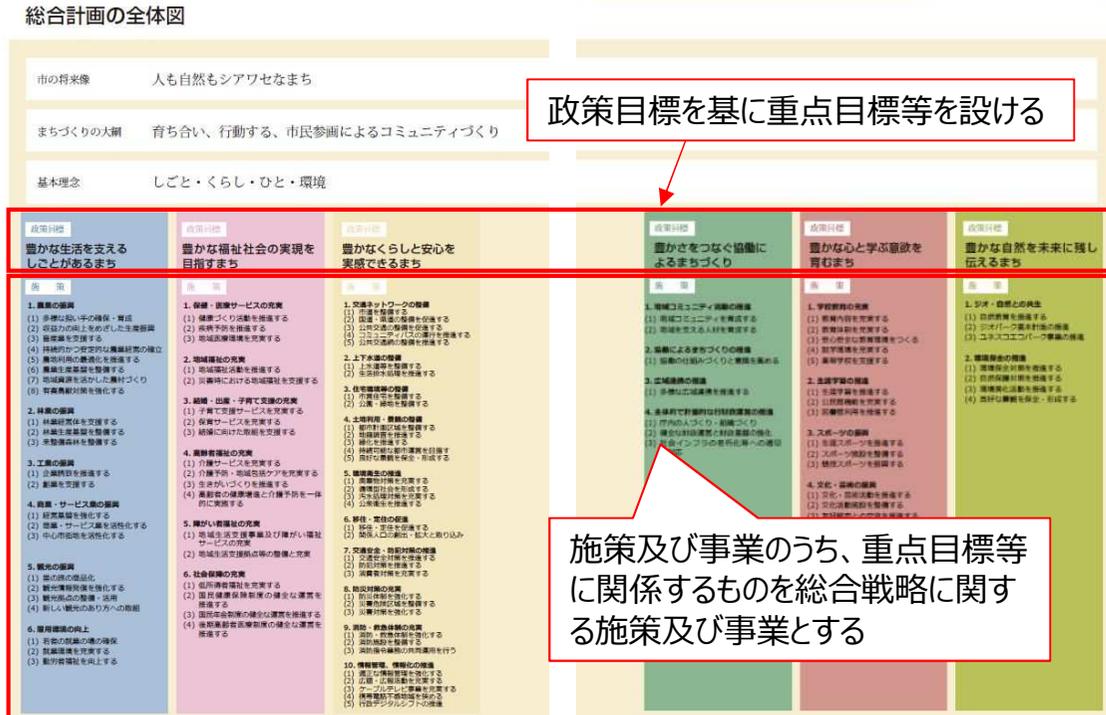
## 4 総合計画の期間について

基本構想を8年、前期基本計画4年・後期基本計画を4年とした計画とし、課題の複雑化・多様化している近年の社会情勢へ対応するために各期間を現行より変更することを検討。また市長任期に連動した形で策定を行えるようにする。

## 5 一体化案

- 総合計画へ、「豊後大野市総合戦略」を包含する形で追加。
- 基本的な考え方、基本目標等は「第2期豊後大野市まち・ひと・しごと総合戦略」を継承することとし、具体的な総合計画の各目標に位置付けられた施策とする。
- 総合戦略の基本目標に対するK P Iは、総合計画で設定したものを基本とする。ただし、地方創生に関わる重要な指標については、総合戦略から引き続き設定するものとする。

総合計画の全体図



### ○第2次豊後大野市総合計画

重点目標

例：「人口減少、少子・高齢化への対応」

### ○第2期豊後大野市まち・ひと・しごと総合戦略

- ・政策分野と基本目標 →引き継ぐ
- ・基本的方向性 →引き継ぐ
- ・具体的な施策 →総合計画より抜粋
- ・K P I →一部引き継ぐ

### ○第3次豊後大野市総合計画

序論

基本構想

：

豊後大野市総合戦略

# 次期総合計画・総合戦略一体化案

※総合計画序論、基本構想、人口ビジョン等策定に必要な内容・分析は従前通りとし、一体化による基本計画のベースを次のようなイメージ図とする

「課名」と「課のスローガン」を記載

① 現状と目標	(1) 人口減少、少子・高齢化への対応	② 課の方針	課として目指すべき方向性を記載
	.....		
	(2) .....		

重点目標を設定し、記載する

豊かな生活を支えるしごとがあるまち  
 豊かな福祉社会の実現目指すまち  
 豊かなくらしと安心を実感できるまち  
 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり  
 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち  
 豊かな自然を未来に残し伝えるまち



③ 取り組む課題と目標とする達成水準	A. 課題を取り巻く背景	B. 施策名(関係する課)	C. 達成水準(KGI)	D. 課題を解決するための手法及び事業	E. 指標(KPI)	過去	現在	未来	F. 分類		
									基本構想6つの政策目標	あるべき姿	SDGsアイコン
	市の将来像「人も自然もシアワセなまち」の実現を目指すに当たり、懸念すべき課題の背景を記載	市の将来像「人も自然もシアワセなまち」の実現を目指すに当たり、A・を取り除くべく課の方針に従って取り組む施策を記載	B・の施策に取り組むに当たって定めたKGIを記載	C・のKGIを達成すべく実施する手法や事業等を記載	C・のKGIを達成すべく、D・の事業等を実施するに当たって定めた「KPI」を記載	E・の3年前の数値	E・の現在の数値	E・の3年後の数値	基本構想の「6つの政策目標」で該当するものを記載	施策で該当するものを記載する。 (農業の振興等)	SDGs 17のゴールで該当するアイコンを示す。